

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月

国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 新潟大学教育学部附属長岡中学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒940-8530
新潟県長岡市学校町1-1-1

E-mail :

Website : http://www.nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp/

児童生徒数：男子 151名 女子 201名 合計 352名

児童・生徒の年齢 12歳～15歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 その他 (地域ブランド, 高齢者・障がい者, 子育て)
 そのほか ()

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

☑ 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。

添付ファイル「社会創造科の実践研究」にて掲載

☑ 実施テーマに関連した研究旅行の実施。

・第1学年研修旅行（東京方面）

・第2学年修学旅行（沖縄方面）

第1学年では、新設教科「社会創造科」で追究してきたテーマをもとに、それまでの追究を踏まえ、東京と長岡を比較しながら地元長岡の問題点をあぶり出し、解決への方法を見出し、地域への提言を考えた。

第2学年では、持続可能地域社会を求めている沖縄県伊江島を訪問し、民泊活動を通して地元の人と触れ合い、伊江島の良さを実感するとともに、長岡を持続可能にするための視点を追究した。

□ 他国の学校との交流や相互協力の実施。（交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。）

□ 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。（国際母語の日、国際天文年、識字の10年など）